

# 人事異動 (課長級以上の職員)

●異動 令和2年4月1日付 (課長級以上の職員)

〔部長・参事〕▼環境経済部長兼 (公財) 行田市中小企業退職金共済会事務局長 江森裕一 (総合政策部次長兼秘書課長) ▼都市整備部長 長谷見悟 (参事兼都市整備部水道課長事務取扱) ▼(教)参事兼(教)学校教育部学校教育課長事務取扱 荻原章 (教)学校教育部次長兼学校教育課長 ▼(教)学校教育部次長兼学校教育課長 ▼(公財) 行田市中小企業退職金共済会事務局長 ▼(備)行田市社会福祉協議会常務理事 (部長級) 江利川芳治 (教)学校教育部

道課長 田島秀和 (建設部管理課長) ▼消防本部次長兼消防署長 木元正幸 (消防署副署長 (第2中隊担当)) ▼(教)学校教育部次長兼教育総務課長 諸貴忠秋 (教)学校教育部教育総務課長 ▼議事事務局次長 (次長級) 中村和則 (総務部総務課長兼選挙管理委員会書記長) ▼彩北広域清掃組合へ派遣 佐野雄一 (環境経済部環境課長兼粗大ごみ処理場長)

〔課長・副参事・幹〕▼総合政策部企画政策課長 島田あかね (内閣府へ派遣) ▼総合政策部広報聴取課長 川上清 (総合政策部企画政策課主幹) ▼総合政策部財産管理課長 磯貝和実 (総合政策部改革推進室長) ▼総務部総務課長兼選挙管理委員会書記長 菅原広志 (総合政策部企画政策課長) ▼総務部副参事 (市民税担当) 酒井春彦 (総合政策部改革推進室主幹) ▼総務部人権推進課長 野辺博彦 (健康福祉部高齢者福祉課長) ▼市民生活部南河原支所長 今井良和 (教)生涯学習部図書館長 兼視聴覚ライブラリー館長) ▼環境経済部環境課長兼粗大ごみ処理場長 細谷博之 (教)生涯学習部スポーツ振興課長) ▼環境経済部副参事 (新ごみ処理施設建設準備

担当) 金子政好 (都市整備部水道課主幹) ▼健康福祉部高齢者福祉課長 柴崎英明 (健康福祉部高齢者福祉課地域包括ケア推進幹副参事) ▼健康福祉部高齢者福祉課地域包括ケア推進幹副参事 横山敦亮 (総務部総務課主幹兼選挙管理委員会書記次長) ▼都市整備部建築開発課空き家対策幹副参事 新井大 (総合政策部企画政策課政策推進幹副参事) ▼都市整備部水道課長 加藤修 (建設部道路治水課長) ▼都市整備部副参事 (水道担当) 藤倉敬士 (総務部税務課主幹) ▼建設部管理課長 黒澤典弘 (鴻巣行田北本環境資源組合へ派遣) ▼建設部道路治水課長 五十幡雅弘 (都市整備部下水道課長) ▼消防署副署長 (第2中隊担当) 服部昌彦 (消防署北分署長兼第2小隊長) ▼消防署西分署長兼第1小隊長 山口謙一 (消防署本署第1中隊小隊長兼消防本部総務課警防担当主幹) ▼消防署南分署長兼第1小隊長 長島功 (消防署西分署長兼第1小隊長) ▼消防署北分署長兼第2小隊長 尾野学 (消防署本署第2中隊中隊長) ▼(教)学校教育部学校給食センター所長 小林誠 (都市整備部建築開発課空き家対策幹) ▼(教)生涯学習部ひとり暮らし支援課長 野口啓司

(市民生活部市民課長) ▼(教)生涯学習部スポーツ振興課長 杉山孝義 (総合政策部広報広聴課長) ▼(教)生涯学習部図書館長 兼視聴覚ライブラリー館長 柿沼誠 (環境経済部産業拠点推進室長)

●退職 令和2年3月31日付  
▼都市整備部長 三好寿典 (埼玉県へ帰任) ▼総務部次長兼人権推進課長 内田親生 ▼消防司令長 (次長級) 堀口洋 ▼消防司令長 (課長級) 細谷昇 ▼(教)学校教育部学校給食センター所長 満井房子

## クールビズを実施しています

温室効果ガスの削減を図ることを目的に、次の期間、職員は軽装で勤務しています。皆さんのご理解をお願いします。

●実施期間 5月1日(金)～10月31日(土)  
▼問い合わせ 人事課研修厚生担当 (内線209)



## ごみ集積所で火災が発生しました

3月20日午後3時35分ごろ、持田長町子供ひろば(南西側)ごみ集積所で火災が発生しました。

- 集積所からの出火を防止するため、次のことにご注意ください。
- ごみの排出は収集日当日の朝、午前8時30分までをお願いします。
  - 夜間や、事前に出すことは絶対におやめください。
  - 家の周りの整理整頓に心掛け、燃えやすいものを置かないようにしてください。

▶問い合わせ 環境課環境業務担当 ☎556-9530



## ごみゼロ運動を中止します

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、皆さんの安心安全を守る観点から、5月17日に実施を予定していた春のごみゼロ運動は中止としました。

準備を進めていただいた皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いします。

▶問い合わせ 環境課環境業務担当 ☎556-9530



## エコライフDAY2019冬の結果をお知らせします

エコライフDAYとは、省エネ・省資源など環境に配慮した一日を送り、簡単なチェックシートで温室効果ガスである二酸化炭素の削減量を把握し、ライフスタイルを見直すきっかけを作る取り組みです。

市では市内の小・中学生とその家族に協力をいただき、令和元年12月9日から15日の期間内の一日について実施しました。また、エコライフDAY実施の募集をしたところ、4団体(二持田第一自治会、持田西自治会、ものづくり大学、行田郷土史研究会2012)から応募があり、それぞれ期間を設定し、実施していただきました。

今回のエコライフDAYにより削減できた二酸化炭素の量は2,439,598グラムとなりました。これは約1,034リットルのガソリンを燃焼させたときに排出する二酸化炭素の量と同じです。

| 参加区分※1 |        | 参加数(人) | 二酸化炭素削減量(g) | 一人あたりの削減量(g) |
|--------|--------|--------|-------------|--------------|
| 小学5年生  | 児童     | 559    | 553,087     | 989          |
|        | 家族、教職員 | 456    | 446,148     | 978          |
| 中学2年生  | 生徒     | 562    | 532,775     | 948          |
|        | 家族、教職員 | 137    | 141,590     | 1,034        |
| 一般     | ※2     | 277    | 269,529     | 973          |
| 市役所    | 職員など   | 576    | 496,469     | 862          |
| 合計     |        | 2,567  | 2,439,598   | 950          |

※1 参加区分によってチェック項目が異なります。

※2 一般は4団体(二持田第一自治会、持田西自治会、ものづくり大学、行田郷土史研究会2012)の合計です。団体別の詳細は市ホームページに掲載しています。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530